

<h2>1 総人口 New!</h2>	<p>基準: 各年10月1日現在 出典: H27年=県統計課「平成27年国勢調査速報」、H12,17,22年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県の推計人口」</p>
<p>◎前回国勢調査比 -5.7% 4回連続減 </p> <p>◎震災前比 H27=94.3 (H22=100.0) </p>	<p>(人) (前回国勢調査比: %)</p>
<p>○平成27年国勢調査結果(速報)は、震災前となる平成22年の前回調査から11万人以上減の1,913,606人となり、△5.7%の減少幅は過去最大となった。</p> <p>○男性が前回調査比△4.0%に対し、女性は△7.3%となっており、女性の減少幅が大きい。</p>	<p>基準: 年 出典: 厚生労働省「人口動態統計」</p>
<p>◎前年比 +0.05% 2年連続増 </p> <p>◎震災前比 H26=103.9 (H22=100.0) </p>	<p>(合計特殊出生率)</p>
<p>○平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復。</p> <p>○さらに平成26年は1.58となり全国9位、東日本では1位の高水準へ上昇。</p> <p>○前年からの上昇幅は、平成25年に+0.12、平成26年に+0.05となり、2年連続で全国最大。</p>	<p>基準: 年 出典: 福島県産婦人科医会業務資料 平成20年から継続回答している25機関において扱った件数</p>
<p>◎前年比 +2.7% 2年連続増 </p> <p>◎震災前比 H26=74.4 (H22=100.0) </p>	<p>(件) (前年比: %)</p>
<p>○震災前の平成22年は2,290件だったところ、平成24年に震災前の約5割まで落ち込んだ。</p> <p>○平成25年からは回復をみせ、平成26年は1,704件となり、2年連続の増加となっている。</p>	<p>基準: 年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」</p>
<h2>4 県内総生産 New!</h2> <p>◎経済成長率(前年度比) 名目 +6.9% 実質 +6.5% 2年連続増 </p> <p>◎震災前比 名目 H25=103.4 実質 H25=104.8 (H22=100.0) </p>	<p>(億円) (経済成長率: %)</p>
<p>○平成25年度は製造品出荷額等の増加や発電所の復旧・本格稼働等により総生産が増加し、震災前を上回った。</p> <p>○経済成長率は名目、実質ともに2年連続のプラスとなった。</p>	<p>基準: 年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」</p>
<h2>5 一人あたり県民所得 New!</h2> <p>◎前年度比 +8.7% 2年連続増 </p> <p>◎震災前比 H25=110.0 (H22=100.0) </p>	<p>(千円) (前年度比: %)</p>
<p>○平成24年から2年連続で大幅増加し、平成25年度は278万7千円となった。</p> <p>○生産活動の増加により、特に企業所得が大きく増加した。</p>	<p>基準: 年度 出典: 県統計課「福島県県民経済計算」</p>

<変化方向について>
 緑:良い動き 赤:悪い動き 黄:横ばい で表示。
 ※逆向き指標(企業倒産件数等)が減少した場合、下向きかつ緑(良い動き)の矢印となる。

<h3>6 常用労働者数 New!</h3> <p>◎前年比 -0.4% 3年振り減 ➡</p> <p>◎震災前比 H26=102.0 (H22=100.0) ➡</p> <p>○震災時に大幅減となったが、平成24年から2年連続で増加した。 ○平成26年は前年から△0.4%の652,883人となったが、震災前の水準は上回っている。女性は卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業を中心に増加が続いている。</p>	<p>基準:年平均 出典:県統計課「毎月勤労統計調査地方調査結果年報」</p> <p>(人) (前年比:%)</p>
<h3>7 医療施設従事医師数 New!</h3> <p>◎前回調査比 +5.7% 3調査振り増 ➡</p> <p>◎震災前比 H26=103.4 (H22=100.0) ➡</p> <p>○県内の医療施設に従事する医師は近年減少していたが、平成26年は前回調査から増加し、188.8人(人口10万人対)となった。 ○全国の233.6人より44.8人下回り、医師不足の状況は続くものの、内科や産婦人科などの医師は増加がみられる。</p>	<p>基準:各年12月31日現在 人口10万人対 出典:厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」</p> <p>(人) (前回比:%)</p>
<h3>8 食料自給率 New!</h3> <p>◎前年度比 +4.1% 3年振り増 ➡</p> <p>◎震災前比 H25=85.4 (H22=100.0) ➡</p> <p>○震災前の平成22年度は、全国39%に対し本県は90%の高水準であった。 ○平成23年度は大幅に下降したが、25年度には76%へ上昇し、回復を見せ始めている。</p>	<p>基準:年度 出典:農林水産省「都道府県別食料自給率」カロリーベース</p> <p>(%)</p>
<h3>9 太陽光発電購入容量 New!</h3> <p>◎前年度比 +125.2% 12年連続増 ➡</p> <p>◎震災前比 H26=951.5 (H22=100.0) ➡</p> <p>○増加傾向にある中、震災後は助成制度の拡充等によりさらに増勢が強まっている。 ○平成25年度からは2年連続で前年度比125%超の大幅増加が続き、平成26年度は平成22年度の951.5%となっている。</p>	<p>基準:年度 出典:県エネルギー課業務資料</p> <p>(kW) (前年度比:%)</p>
<h3>10 全国新酒鑑評会金賞受賞数 New!</h3> <p>◎前年度比 +41.2% 2年振り増 ➡</p> <p>◎震災前比 H26=120.0 (H21=100.0) ➡</p> <p>○本県の酒づくりは高い評価を受けており、新酒鑑評会での金賞受賞数は全国で最高ランクにある。 ○平成26酒造年度の金賞受賞数は24点で、3年連続で全国1位となっている。</p>	<p>基準:酒造年度(7月1日～翌年6月30日) 出典:独立行政法人酒類総合研究所、日本酒造組合中央会「全国新酒鑑評会審査結果」</p> <p>(点) (順位)</p>

各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。